

茨城大学農学部同窓会会報

第8号

第8号内容

- ・特集：近頃の農学部は(学内幹事報告)
- 1) たまごで産学連携
- 2) インドネシア3大学との教育・研究交流と「サステナビリティ学」の展開
- 3) 最近の鍬耕祭について
- ・会長ごあいさつ
- ・農学部長ごあいさつ
- ・同窓会からお知らせ
- ・会計状況・教員の異動・編集後記



茨城大学農学部同窓会会報 第8号

平成 19 年 3 月

発行元： 茨城大学農学部同窓会

〒300-0393 茨城県稲敷郡阿見町中央 3-21-1

代表者 赤塚 尹巳

電話 029-888-8673 (事務局、正木)

ステージイベントの催しに集まった多くの観衆

第 57 回 鍬耕祭 (平成 18 年 11 月 3~4 日 農学部キャンパス内にて)
「最近の鍬耕祭について」の記事より

特集：近頃の農学部は (学内幹事報告)

**鶏飼料に納豆
ダイエット卵**

茨城県は2白、納豆の粉末を鶏飼料に食べさせるとコレステロールが通常より約20%減少する。これを発見したと発表した「ダイエット卵」として数年後に製品化する。8月、日本畜産ビレッジサイト(東京都江東区)で開かれる「卵100%プロジェクト(EGXPO 2006)」に出展する。同県畜産センター(養鶏研究室が茨城大、独立行政法人畜産草地研究所と共同で開発し、「低コレステロール、通常より20%減」の鶏飼料を開発した。100%の飼料にも配合して鶏の飼料を配合させたところ、卵黄のコレステロールが減少した。鶏が納豆を食べると、卵黄のコレステロールが低くなるのは解明されていない。同センターは「研究を重視し、特産品にしたい」と話している。【藤田裕博】

茨城県開発、製品化へ

コレステロール、通常より20%減

毎日新聞 平成 18 年 8 月 3 日朝刊より



たまごで産学連携

宮口右一

私たちの研究グループでは、鶏卵などの畜産物の品質について研究を行っています。今回は、「低コレステロールたまご」の研究と産学連携への取り組みについてご紹介いたします。この研究は独立行政法人畜産草地研究所、茨城県畜産センターとの共同研究(農林水産研究高度化事業)で、私と飼料資源科学研究室の中村豊教授、豊田淳講師とで平成十六年から研究を進めているものです。コレステロールは、過剰摂取すると、生活習慣病の要因になるといわれられています。このコレステロール値の低いたまごをつくるには、納豆を用います。つまり、乾燥粉末にした納豆を飼料用サプ